

滋賀ロケーションオフィス ニュース



創刊号 平成14年(2002年)10月10日発行

発行：滋賀ロケーションオフィス
(社団法人滋賀県観光連盟内)
〒520-0044
滋賀県大津市京町四丁目1番1号
滋賀県商工労働会館 3階
TEL：077-511-5775
FAX：077-523-7555
E-mail：info@shiga-location.jp
URL：http://www.shiga-location.jp

“FC”って何？

映画、ドラマ、CMなどの映像制作を地域に誘致して、現地でのロケーション撮影がスムーズに進行するように、様々な支援や協力を行う非営利組織。それがフィルム・コミッション、略してFCです。

もとはアメリカで生まれた組織ですが、世界初のFCが設立されたのは、なんと1940年代後半(!)というから、第2次世界大戦が終わって間もない頃ですね。さすが映画大国アメリカです。

日本では、平成12年に大阪で初めて設立され、9月末現在で32のFCが設立されています。

ちなみに、滋賀ロケーションオフィスは全国で19番目に設立されたFCです。ひとくちにFCと言っても、県や市などの地方自治体、商工会議所、観光協会、NPOなど、その設立母体は実に様々です。

しかし、どのFCにも共通しているのは、「映像」を通じた地域のイメージアップが活動目的であること。観光振興や文化振興、また経済効果など、ひとと地域をもっと元気に……、FCにはそんな役割が期待されています。

いま、社会の状況は全体的な不況感の中でどちらをみても「ええはなし」、おもしろいこと”がありません。こういうとき、人は少しでもうれしくなり、前向きになれることを待ち望み、そして憧れているのではないのでしょうか。

滋賀県は日本一の琵琶湖をはじめ水と緑の美しい自然の風景や都市的風景、さらには、いにしへの歴史や文化財に恵まれ、ロケーションがいっぱいあります。それにあたたかい人情もあります。こうした

最高の資産を情報化の時代の中で活かす”が、県や市町村等で組織されました。映画やテレビ番組のロケを誘致し、ロケの実施にともなう経済効果や映画やテレビで紹介されることにもなう本県への観光客の増加など間接事後経済効果により、地域の活性化や振興に役立ち、そして県民のみなさんにも”うれしさ”をご提供したいと思っております。

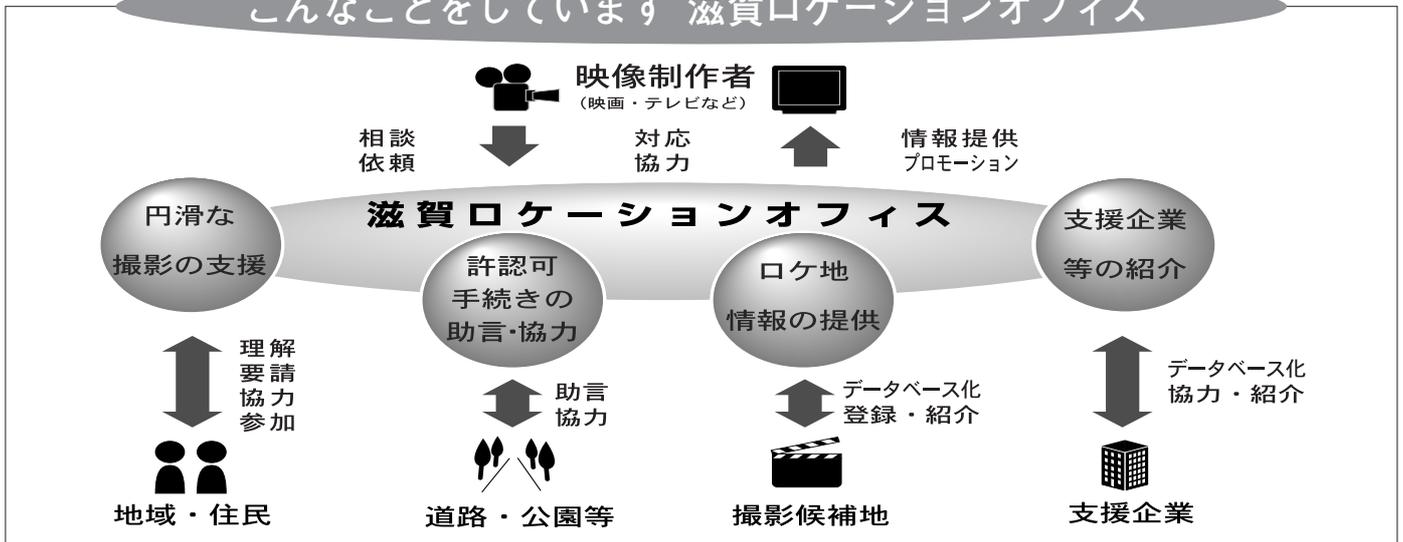
今回、滋賀ロケーションオフィスの活動を応援していただく”サポーター”を募集しましたところ大勢の方が応募、登録をいただき、大きな味方を得たと思います。今後はオフィスの「よき応援者」になっただけのお願いして、創刊にあたっての挨拶といたします。



滋賀ロケーションオフィス代表 勝島 實

ロケ撮影で滋賀を発信

こんなことをしています 滋賀ロケーションオフィス



近目放映!

滋賀県でロケ撮影が行われました

最近、滋賀ロケーションオフィスでは、次の番組の撮影協力を行いました。テレビのブラウン管を通して見れば、見慣れた風景にも新たな発見があるかも…。みなさん、ぜひご覧下さい!

『遠くへ行きたい』

～琵琶湖の恵みヨシのうた～

滋賀県草津市～近江八幡市

●平成14年10月13日(日)朝7時30分～8時
(放送予定)

読売テレビ・日本テレビ系放送

ご存知、昭和45年からスタートした長寿旅番組。今回はイラストレーターの本山賢司さんが琵琶湖周辺を訪ね歩きます。

『謎解き加賀百万石への道』

～金創医 太平の世の転換～

●平成14年10月19日(土)16時35分～40分
(放送予定)

NHK総合

NHK大河ドラマ『利家とまつ』関連の紀行クイズ番組。ドラマの舞台となった賤ヶ岳古戦場跡や「鉄砲の里」国友地区などを訪ね、知られざる歴史をクイズで紹介します。



～滋賀ロケーションオフィス設立記念～

『びわ湖映画フェスタ』を開催します!

と き：平成14年11月16日(土)14時30分～(開場14時)

と ころ：県立男女共同参画センター(近江八幡市鷹飼町)



“男はつらいよ”山田洋次監督ほかとロケ誘致の意義を考えてみませんか?

▶サポーターの方は、10月17日(木)【当日消印有効】まで優先受付を行います。(優先受付期間後は一般申込みと同じ扱いとなります)

詳しい内容は、同封のチラシをご覧ください。

サポーター登録快調!

8月20日から登録をスタートした滋賀ロケーションオフィスサポーター募集。反響は予想以上に大きく、オフィススタッフの予想を遥かに上回り、登録者数は9月末現在で約270名にのぼっています。

このニュースが発行される頃には、登録いただいたみなさんのお手元にサポーター登録証をお届けできる予定です。

スタッフのつぶやき

映像制作者は妥協しない編

今年、4月1日に滋賀ロケーションオフィスを立ち上げ、はや半年が過ぎ去りました。

アメリカ・PBS放送のドキュメンタリー番組の彦根城ロケで始まり、「当オフィスも早くも国際化?」と思わせる、さい先の良いスタート。

その後、「揖保の糸」CM候補地選び、「利家とまつ」紀行などNHK大河ドラマ関連の問い合わせやロケ、「琵琶湖プロジェクト」シリーズ(スカイパーフェクTV!・京都チャンネル)のロケなど9月末までに47作品を支援してき

ました。

では、ここで当オフィスのスタッフからのつぶやきをご披露いたします。

1 「美林紀行」(NHK BS・ハイビジョン)は良かったです。妥協がなくて……。森と川との有機的なつながりを感じてか、安曇川の川の中へも平気で入ってしまう冬でなくてよかったです。

2 「赤い霊柩車」(フジテレビ・大映テレビ)では、大津や彦根、能登川などほとんど県内で撮影されており、オン・エアを見るとつい現場の風景が頭をよぎります。なんとか無事に撮影ができてよかったです。

3 「遠くへ行きたい」(日本テレビ)のスズメバチの巣との格闘(?)は圧巻です。「虎穴に入らずんば虎子を得ず」。でもその下準備も万全でした。

用意した担架が使われなくてよかったです。4 「琵琶湖プロジェクト」でお会いした長唄の先生より。「声は自然に出せばいいのよ」。

そうか、私はこのままでよかった。

いろいろあった半年ですが、まずまずの滑り出しかなと思う今日この頃。サポーターの皆様とともに滋賀県の魅力をさらに映像に提供できるよう考えて行きたいと思えます。

編集後記

記念すべき創刊号いかがでしたか。第2号は来年1月頃に発行予定です。今後は読者参加型

で紙面充実に努めていきたいと思っております。ご意見やご感想あるいはご提案など、どんどんお寄せ下さい。ぜひお待ちしております。